

# 学校関係者評価報告書

【評価対象期間】 自：2023年1月1日  
至：2023年12月31日

専修学校  
海邦電子ビジネス専門学校

## 1 教育理念

- 1) 豊かな人間性と社会で必要とされている知識、技術を備えた「明朗で社会から歓迎される人材」を育てます。
- 2) 知識や技術を最大限に発揮するための”人間力”を高め「誠実で人間性豊かな人材」を育てます。
- 3) 変化する情報化社会において、幅広い知識と専門分野の高い技術を持った「実力で勝負できる人材」を育てます。

## 2 教育目標

### イ・経理専攻科

経理専攻科では様々な企業の経理職・税務会計のプロフェッショナルとなる教育と指導、IT時代のオフィスに対応できる専門知識と技術を持つ人材を育成します。

- 1) 経理専攻科は、中小企業から大手企業の経理会計職に就くため、商業簿記・会計学・工業簿記・原価計算・建設業簿記の資格をすべて取得します。
- 2) 専門職である税理士事務所や公認会計士事務所の事務職に就くため、法人税法・所得税法・消費税法の資格を取得し、簿記論財務諸表論の学習を行います。
- 3) 企業の事務作業は、コンピュータで行われるため、コンピュータ会計やワープロ・表計算・文書デザイン・プレゼンテーションの資格を取得します。
- 4) 社会人になるための意識やスキルアップとして、社会人常識マナーの資格を取得します。早期に会社見学や訪問も実施しており、就職活動の意識を高める事に繋げています。

## ロ・公務員専攻科

公務員試験が難しいとされる理由に「高い教養と優れた人間性の両方がもとめられる」ということが挙げられます。公務員専攻ではその事を常に意識し、以下指導徹底して行う事で志の高い優れた奉仕者となるよう指導していきます。

### 1・知識分野

単に暗記するだけでなく、キーワードの持つ意味・背景を関連付けて覚えてもらい広がりを持たせる。

### 2・知能分野

問題解決に向けて様々な角度からアプローチを行い、臨機応変にしかもスピーディに解決できる能力を身に付けさせる。

### 3・人物評価

単に「公務員になりたい」ではなく、具体的な公務のイメージしてもらい、なぜその部署、職種でなければならないのか、その思いはどれぐらい熱いのかを面接や小論文にてアピールできるよう指導する。

## ハ・医療専攻科

医療専攻科では医療業界の事務職に対する多様なニーズ応じられる専門知識と技術を持つ人材を育成します。

- 1・医療事務は、医科、歯科、調剤、介護と分野が分かれており、医療専攻科ではそれぞれの分野の医療事務資格をすべて取得します。
- 2・業務のIT化にともない、事務作業のほとんどがコンピュータで行われるため、医療事務、ソフトやワープロ、表計算、プレゼンテーション等のコンピューター関連の資格を取得します。
- 3・中、小規模の医療機関では医療事務と経理を兼務することがあるため、簿記や電卓の資格を取得します。
- 4・病院でインターンシップをすることにより、実務を経験し、就職意識を高め、早期離職を招く就職ミスマッチを防ぐことにつなげます。

## ニ・ビジネスワーク科

ビジネスワーク科では中小企業における経理事務職に対応できる専門知識と技術を持つ人材を育成します。

- 1・ビジネスワーク科は、中小企業の経理会計職に就くため、商業簿記・会計学・工業簿記・原価計算の資格をすべて取得します。
- 2・企業の事務作業は、コンピューターで行われるため、コンピューター会計やワープロ・表計算・文書デザイン・プレゼンテーションの資格を取得します。
- 3・社会人になるための意識やスキルアップとして、社会人常識マナーの資格を取得します。早期に会社見学や訪問も実施しており、就職活動の意識を高める事に繋げています。

### 3 学校の教育理念、学科の教育目的、育成人材像

(1)	理念・目的・育成人材像	適切 S、ほぼ適切 A、やや不適切 B、不適切 C							
評 価 項 目		自己点検、評価				学校関係者評価			
イ	理念・目的。育成人材像は定められているか。	(S)	A	B	C	(S)	A	B	C
ロ	理念・目的・育成人材像などが学生、保護者等に周知しているか。	(S)	A	B	C	(S)	A	B	C
ハ	各学科の教育目的および育成人材像を定め、関連業界に周知しているか。	(S)	A	B	C	(S)	A	B	C

#### ① 課題：

2020年度から2023年度は、コロナ渦のため、入学直後のオリエンテーション、スポレク、学校行事など、中止が多かった。したがって、学生に対する教育理念等の伝え方に、クラスによる温度差があると思われる。

#### ② 改善：

2024年度は、状況の許す限り、本校の新入生全員が集合しての対面オリエンテーションを実施して、学校行事も実施したい。

#### ③ 今後の取り組み：

本校の教育理念や目的および育成人材像は、本校のホームページにて公表している。また新しい教職員に対して、教育理念をしっかりと浸透させるために、キックオフミーティングの際などに、教育理念の読み合わせを行う。

(2) 学校運営		適切 S、ほぼ適切 A、やや不適切 B、不適切 C							
評価項目		自己点検、評価				学校関係者評価			
イ	運営方針を策定し周知しているか。	○S	A	B	C	○S	A	B	C
ロ	運営組織や意見決定システムを整備し、また有効に機能しているか。	○S	A	B	C	○S	A	B	C
ハ	人事、給与に関する制度は整備されているか。	○S	A	B	C	○S	A	B	C
ニ	教職員の募集、採用、昇格は適切に行われているか。	○S	A	B	C	○S	A	B	C
ホ	教務、事務、財務の組織整備など意思決定システムは整備されているか。	○S	A	B	C	○S	A	B	C
ヘ	教育活動に関する情報公開が適切になされているか。	S	○A	B	C	S	○A	B	C
ト	事務職員の意欲、資質の向上を図るための方策を講じているか。	○S	A	B	C	○S	A	B	C

〔課題と改善〕

(イ) 学校を取り巻く状況の変化を常に捉え、最新の状況に対応できる運営方針を策定する。

運営方針が学校を取り巻く状況にそぐわなくなった場合には、運営方針の変更も検討する。

(ロ) 本校の組織運営、意思決定機関については適切に機能している。

(ハ) 人事、給与に関しては就業規則を活用して整備されている。

(ニ) 校長、副校長、事務長が就業規則を活用して適正に行っている。

(ホ) 教育活動に関する情報公開、事務職員の意欲、資質の向上に関する研修を行い、かつ適正  
 (ヘ) 人材に望まれている。  
 (ト)

(3) 教育活動		適切S、ほぼ適切A、やや不適切B、不適切C							
評価項目		自己点検、評価				学校関係者評価			
イ	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか。	S	A	B	C	S	A	B	C
ロ	教育理念、育成人材像や業界ニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか。	S	A	B	C	S	A	B	C
ハ	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか。	S	A	B	C	S	A	B	C
ニ	キャリア教育、実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか。	S	A	B	C	S	A	B	C
ホ	授業評価の実施・評価体制はあるか。	S	A	B	C	S	A	B	C
ヘ	成績評価・単位認定の基準は明確になっているか。	S	A	B	C	S	A	B	C
ト	資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか。	S	A	B	C	S	A	B	C
チ	人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか。	S	A	B	C	S	A	B	C
リ	職員の能力開発のための研修等が行われているか。	S	A	B	C	S	A	B	C
ヌ	授業はシラバスに基づいて授業が展開されているか。	S	A	B	C	S	A	B	C
ル	成績評価の単位認定、進級、卒業判定の基準は明確になっているか。	S	A	B	C	S	A	B	C

〔課題と改善〕

(イ)	カリキュラムは、教育課程の編成・実施方針に基づき、教務主任を中心にカリキュラムを作成し、教育編成委員会における意見を踏まえ、カリキュラムを更新する。
ス	成績評価、単位認定、進級、卒業判定については、学則及び各規程を定め、職員会議において適正に行っている。
(ル)	法令に則り、かつ学校の教育理念、目的の達成に必要な教育の種類、分野、学生数を考慮した上で、必要な教員組織を構築している。
	授業、クラス運営等、日常の業務は、カテゴリーごとのグループに分かれ、管理職や主任を中心に運営している。

(4) 学修成果		適切 S、ほぼ適切 A、やや不適切 B、不適切 C							
評価項目		自己点検、評価				学校関係者評価			
イ	就職率の向上が図られているか	○S	A	B	C	○S	A	B	C
ロ	資格取得率の向上が図られているか	○S	A	B	C	○S	A	B	C
ハ	退学率の低減が図られているか	○S	A	B	C	○S	A	B	C
ニ	卒業後の専攻分野におけるキャリア形成への適応性、効果を把握しているか	○S	A	B	C	○S	A	B	C
ホ	卒業生の専攻分野における社会的評価を把握しているか	○S	A	B	C	○S	A	B	C

〔課題と改善〕

(イ)	進路部の就職担当職員が、求人情報や学生情報の共有を行い、月1回の就職説明会を開催し、適切に向上がはかられている。
（	企業における卒業生の状況や、企業が学校の教育活動に求めていることについては、進路部担当職員が企業から聞き取り、担当職員も共有している。
(ホ)	退学防止については、クラス担任が学生の日常のケアを行い、出席率低下等、退学の兆候の見える学生については、担任と進路部が退学防止策を講じている。

(5) 学生支援		適切S、ほぼ適切A、やや不適切B、不適切C							
評価項目		自己点検、評価				学校関係者評価			
イ	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	S	A	B	C	S	A	B	C
ロ	学生相談に関する体制は整備されているか	S	A	B	C	S	A	B	C
ハ	学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	S	A	B	C	S	A	B	C
ニ	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	S	A	B	C	S	A	B	C
ホ	課外活動に対する支援体制は整備されているか	S	A	B	C	S	A	B	C
ヘ	学生の生活環境への支援は行われているか	S	A	B	C	S	A	B	C
ト	保護者と適切に連携しているか	S	A	B	C	S	A	B	C
チ	卒業生への支援体制を整備しているか	S	A	B	C	S	A	B	C
リ	学生の課外活動に対する支援を適切に行っているか	S	A	B	C	S	A	B	C

〔課題と改善〕

(イ)	進路部職員は教務部職員と管理部職員を同席し、修学支援、生活支援、進路支援を月1回行っている。
ㄱ	教務部職員は、学生や保護者等との面談を適宜行っており、必要に応じて管理部職員も同席し、面談を行っている。
(リ)	学生の校外活動支援では、バレーボール、野球、テニス、バスケット等を校外会場にて、月1回のペースで行っている。
	経済的支援としては、特待生制度、指定校制度、ファミリー制度、早割制度があり、多くの学生が活用している。



(6)	教育環境	適切 S、ほぼ適切 A、やや不適切 B、不適切 C							
評価項目		自己点検、評価				学校関係者評価			
イ	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	○S	A	B	C	○S	A	B	C
ロ	防火に対する体制は整備されているか	○S	A	B	C	○S	A	B	C
ハ	学校に隣接する学生専用の無料駐車場を完備しているか	○S	A	B	C	○S	A	B	C

〔課題と改善〕

(イ)	学校に隣接する学生専用の無料駐車場（150台）を完備している県内の交通手段は自家用車であり学生の8割は自家用車で登下校している。
（ハ）	学生の登下校及び学校生活における事故に備えて、保険の加入を義務化している。また、災害発生時や感染症発症時の緊急連絡網も整備し運用している

(7) 学生の受入れ募集		適切 S、ほぼ適切 A、やや不適切 B、不適切 C							
評価項目		自己点検、評価				学校関係者評価			
イ	学生募集活動は、適正におこなわれているか	○S	A	B	C	○S	A	B	C
ロ	学生募集活動に「おいて、教育成果は正確に伝えられているか	○S	A	B	C	○S	A	B	C
ハ	校納金は妥当なものとなっているか	○S	A	B	C	○S	A	B	C
ニ	入学後のミスマッチを防止するため、オープンキャンパス開催しているか	○S	A	B	C	○S	A	B	C

〔課題と改善〕

(イ)	学生の受入れ募集については、公正かつミスマッチをさけるためにオープンキャンパスを毎週土曜日に実施している。
ㄱ	本校入学生の7割はオープンキャンパスに参加して入学手続きを行っている。また希望者には1日体験入学を行っている。
(ハ)	校納金については、適切な授業料、入学金等設定を行っている。教材費については、各学科のカリキュラムに合致した教材等、妥当性、透明性を確認して決定している。